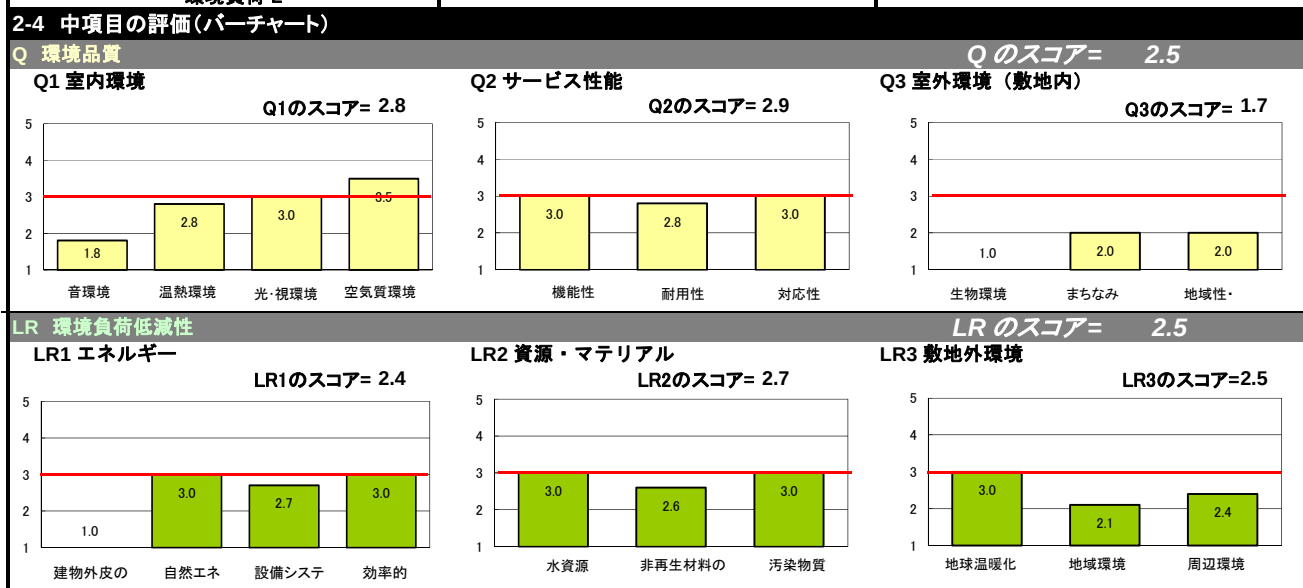
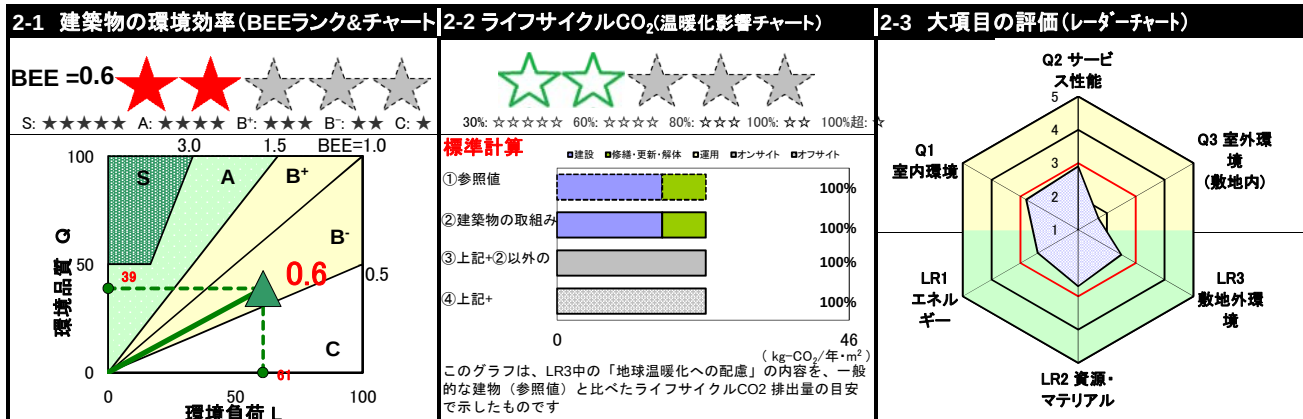


CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 5-087



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ライフセレクトNEW横浜本店新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市戸塚区平戸町100, 5382-1, 5385, 2259-194, 2260-14	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,680 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 竣工	評価の実施日	2023年10月27日
敷地面積	13,754 m ²	作成者	中野豊明
建築面積	8,367 m ²	確認日	
延床面積	29,633 m ²	確認者	中野豊明



3 設計上の配慮事項		
総合 便器の節水タイプを採用し、環境への配慮を考えました。		その他
Q1 室内環境 F☆☆☆☆をほぼ全面に採用	Q2 サービス性能 階高のゆとりを大きく確保した	Q3 室外環境(敷地内) 限られた敷地配置の中で最大限緑化に努めた
LR1 エネルギー 出来る限り省エネ機器を選定した	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境 搬入車両の専用スペースを確保して、交通負荷抑制に配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)ライフセレクトNEW横浜
新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

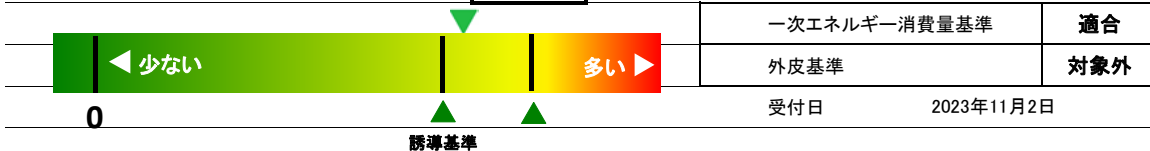
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 15 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆の内装材をほぼ全面に採用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫高さ制限のぎりぎりまで階高をとった

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

搬入車両の専用スペースを確保した

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰鉄骨造で躯体と仕上を2段階で考えることで、建物全体の耐用年数が上がる

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1

(仮称)ライフセレクトNEW横浜新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境		1.8	0.15	-	-			1.8
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-			-
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	-	-			-
2 界壁遮音性能		-	-	-	-			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			-
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-			-
2 温熱環境		2.8	0.35	-	-			2.8
2.1 室温制御		2.6	0.50	-	-			-
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.50	-	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.17	-	-			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.33	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-			-
1 昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	-	-			-
3.2 グレア対策		-	-	-	-			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.50	-	-			-
4 空気質環境		3.5	0.25	-	-			3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-			-
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			-
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	-	-			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		3.0	0.40	-	-			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.33	-	-			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.33	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	3.0	-			-
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-			2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	-	-	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.25	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.13	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.13	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.25	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.25	-	-			-
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防 災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防 災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性		3.0	0.30	-	-			3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	0.30	-	-			-
1 階高のゆとり	3.0	0.60	-	-				-
2 空間の形状・自由さ	3.0	0.40	3.0	-				-
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-			-
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-				-
2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-				-
3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-				-
4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-				-
5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-				-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

(仮称)ライフセレクトNEW横浜新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート			実施設計段階						
配慮項目			重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	1.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	2.5
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	2.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
		集合住宅の評価			-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護					3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-
	1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
	2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減					2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-	-
	1	消火剤			-	-	-	-	-
	2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-
	3	冷媒			3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮					2.1	0.33	-	-	2.1
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善					1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.5	0.25	-	-	-
	1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
	2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
	3	交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	-
	4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮					2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-
	1	騒音			3.0	1.00	-	-	-
	2	振動			-	-	-	-	-
	3	悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					1.6	0.40	-	-	-
	1	風害の抑制			1.0	0.70	-	-	-
	2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
	3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	-
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
	2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目						-	-	-	-
<事務用途>						-	-	-	-
知的生産性向上への取組					快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策					健康・安心	⑥健康対策	-	-	-
2 適切な換気計画					健康・安心	⑥健康対策	-	-	-
3 結露・カビ対策					健康・安心	⑥健康対策	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)					健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-